

岡山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

1. 目的

本市では、令和3年3月に岡山市耐震改修促進計画を改定し、令和7年度における耐震化率の目標値を95%とした。この目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般市民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、岡山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置づけ、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2. 位置付け

アクションプログラムは岡山市耐震改修促進計画第2章第2に基づき策定する。

3. 対象区域

アクションプログラムの対象区域は、岡山市全域とする。

4. 取組内容・目標・実績

(1) 計画

	令和4年度取組内容	令和4年度目標
計 画	【財政的支援】 i) 住宅の耐震診断費に対する一部補助を実施 ii) 住宅の耐震改修工事費に対する一部補助を実施	・住宅に対する耐震診断・補強計画 補助戸数：170戸 ・住宅に対する耐震改修工事 補助戸数：20戸
	【普及啓発等】 i) 住宅所有者に対し直接的に耐震化を促す取組 ・広報紙に耐震診断及び耐震改修補助等に関する折込みチラシを入れて配布又は戸別訪問の実施 ii) 耐震診断の実施者に対する耐震化促進 ・耐震診断又は補強計画の結果報告時におけるリーフレット等の配布・説明等により耐震改修を促進 ・耐震診断後一定期間経過しても耐震改修を行っていない者に対して電話連絡等により、耐震改修を促進	・戸別訪問：200戸（興除学区）
	iii) 改修事業者の技術力向上 ・改修事業者に対する耐震改修工法等に係る説明会を年1回以上実施（県主催） ・県ホームページに耐震改修事業者リストを公表	過去3年間の実績 令和元年度 ・住宅に対する耐震診断・補強計画 補助戸数：107戸 ・住宅に対する耐震改修工事 補助戸数：15戸
	iv) 耐震化普及啓発の実施 ・広報紙に耐震診断及び耐震改修補助等の内容を掲載し、耐震改修の必要性の周知。 ・防災訓練等のイベントにおいてP-ス展示の実施 ・リーフレット等を配布し、補助制度概要等の周知	令和2年度 ・住宅に対する耐震診断・補強計画 補助戸数：55戸 ・住宅に対する耐震改修工事 補助戸数：12戸
		令和3年度 ・住宅に対する耐震診断・補強計画 補助戸数：109戸 ・住宅に対する耐震改修工事 補助戸数：13戸

令和4年度に令和3年度の取組実績を公表し、課題と改善策を検討する。

(2) 自己評価（令和3年度分）

■取組実績【普及啓発等】

- i) 住宅所有者に対し直接的に耐震化を促す取組
 - ・ 広報紙に耐震診断及び耐震改修補助等に関する折込みチラシを入れて配布。（約29万部）
 - ・ 耐震診断及び耐震改修補助等についての啓発のため、戸別訪問を実施。（120件）
- ii) 耐震診断の実施者に対する耐震化促進
 - ・ 耐震診断又は補強計画の結果報告時に耐震改修促進のリーフレット等を送付。（48件）
 - ・ 過去2年間の耐震診断後、改修未実施である住宅所有者に耐震改修促進のリーフレット等を送付。（79件）
- iii) 改修事業者の技術力向上
 - ・ 県主催の施工者向け講習会の実施。（令和3年11月）
 - ・ 市ホームページに県ホームページのリンクを貼付け、耐震改修事業者リストを紹介
- iv) 耐震化普及啓発の実施
 - ・ 広報紙に耐震診断及び耐震改修補助等の内容を掲載し、耐震改修の必要性を周知。（令和3年5月，8月）
 - ・ 市政ラジオにて、市民に対し耐震化の必要性について説明を実施。（令和3年5月）
 - ・ 窓口（本庁舎，各区役所，地域センター）でのリーフレット等配布

■課題と改善策

- ・ 耐震診断や耐震改修工事について、申請件数が目標件数に到達しなかった。
 - ⇒これまでの広報紙やホームページでの周知活動などに加え、今年度から新たに始めた折込みチラシ等の配布や戸別訪問を今後も継続的に行っていく。
- ・ 緊急事態宣言等で戸別訪問できる期間が限られ、想定していた件数の訪問が出来なかった。
 - ⇒年度当初から戸別訪問の準備を行い、訪問可能な期間を増やして目標件数を達成する。